



# 金武

広報

# 平成二十九年 施政方針

No.584  
平成29年(2017年)

平成29年第1回金武町議会3月定例会の冒頭、仲間一町長が平成29年度の施政方針演説を行いました。以下、施政方針の全文を掲載します。



## はじめに

本日、平成29年第1回金武町議会3月定例会の開会にあたり、提案しております平成29年度予算をはじめ、諸議案の説明に先立ち、町政運営に対する所信を申し上げ、議会議員をはじめ町民各位にご理解とご協力を賜りたいと存じます。

## 町政運営の基本方針

私が、「すべての町民が安心して暮らせる健康・福祉のまち」、「若者が夢・希望のもてるまち」を基本理念に掲げ、町政運営の重責を担うようになってから、本年4月で満3年を迎えようとしております。その間も社会情勢は刻々と変化し、町民の立場に対するニーズも年々多様化してきております。そのような状況において、まちづくりを推進していくためには、町民や地域の課題を的確に把握することが重要だと考えております。今後も、町民の声に耳を傾けながら、様々な課題の解決に向けて全力で取り組むとともに、町民生活や福祉の向上を図るため、以下の施策を中心とした事業を展開してまいります。

は町内の認可外保育所2園の定員を拡大し認定子ども園（※2）とすることで、認可保育施設として最大で216人の子どもを受け入れることとなります。今後も、小規模保育施設1園及び認定子ども園1園の新設、既存保育施設の建て替えによる受入定員の増加を目指し、待機児童の解消を図ってまいります。

子育て支援センターにつきましましては、平成28年5月に供用を開始し、利用登録者数は、保護者103人、子ども135人となっております。育児に関する相談や講座の開催、親子の交流、情報交換の場として活用されております。今後も引き続き、在宅保育や地域の子育て支援の拠点として機能の充実を図ってまいります。

子どもの貧困問題につきましては、貧困対策相談員の配置や子どもの居場所づくりの整備を進めてまいりました。今後も、継続的に子どもたちが置かれている状況の把握に努め、行政・学校・地域が連携し、すべての子どもたちが平等に成長できる環境を整えてまいります。

また、本年度から町立幼稚園、認定子ども園幼児教育の5歳児、町立小学

子育て支援の充実に関する施策につきましましては、待機児童対策として、受入定員の増加と保育環境の充実を図るための取り組みを行ってまいりました。その取り組みとして、町認可による19人以下の小規模保育施設（※1）を2園開所し、38人の子どもを受け入れております。また、本年4月に

校及び中学校に在籍する児童・生徒の給食費を無料化し、物心両面からの更なる支援体制の充実を図ってまいります。

幼児教育に関する施策につきましては、幼児期から就学前児童の保育・幼児教育の充実を図るため、町立幼稚園、保育所の認定子ども園化を進めてまいります。

義務教育に関する施策につきましては、1学級35人以下とする少人数学級編制を引き続き実施し、きめ細かな教育を推進してまいります。また、昨年度に各小学校に加え、中学校においても英語教育課程特例校として指定を受けております。今後も、小学校から中学校までの一貫した英語教育に取り組み、児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ってまいります。

若者と町民の雇用に関する施策につきましては、「金武町就活支援センター」を中心として、各種資格取得のため

土地の活用を検討し、更なる活性化を目指してまいります。隣接するスポーツ施設につきましては、金武町フットボールセンターが供用開始され、町内外のサッカーチームが活用しており、また、本年2月には、Jリーグ1部の浦和レッズドバイヤモنزの新たなキャンプ地として活用され、全国のマスコミにも大きく取り上げられました。金武町ベースボールスタジアムにおいては、プロ野球東北楽天ゴールデンイーグルスの練習拠点として活用され、連日多くのファンが球場に訪れ賑わいをみせておりました。併せて、プロチームが主催する少年野球・サッカー教室等も開催され、青少年の競技力向上にも繋がっております。今後も、両施設を活用しスポーツを通じた青少年の人材育成を図るとともに、キャンプや合宿等が可能な施設として情報を発信し、スポーツコンベンション(※3)の拠点となるよう取り組んでま

の講座開設やキャリア教育等の人材育成に取り組み、昨年度の実績においては利用者数235人、就業者数28人となっております。引き続き、同センターの利用促進を図り、ギンバル訓練場跡地に関連する企業をはじめ、様々な業種に就業できる人材を育成しながら、町民の雇用促進に向けて取り組んでまいります。

町内の公共施設に関する施策につきましては、全ての公衆施設の調査・点検を引き続き実施し、利用者が安全で快適に使用できるようバリアフリー化を推進してまいります。

農林水産業の振興に関する施策につきましては、栽培技術指導、生産機具・資材補助、病害虫・鳥獣被害対策、農地集積等を図り、農家所得の向上及び担い手の育成に努めるとともに、並里地区や喜瀬武原地区のかんがい排水施設の整備を進めてまいりました。また、畜産業においては、優良品種導入支援等の一定の成

いります。また、沖縄県が発足した「沖縄2020事前キャンプ等誘致推進委員会」と連携を図りながら、当該施設等が東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿地として活用されるよう、引き続き誘致活動を展開してまいります。

パークゴルフ場の整備につきましては、町民の健康増進、世代間交流、町内外からの誘客が図れる施設として整備できるよう実施設計を行ってまいります。

以下、平成29年度予算及び主要施策についてご説明申し上げます。



▲浦和レッズ サッカー教室

果もあり町内生産者の出品牛も高値で推移している状況となっております。今後も引き続き、生産者の指導・育成や新規就農者への支援、伊芸地区かんがい施設などの基盤整備を図りながら、生産者の所得向上を目指すとともに、生産物の6次産業化の推進に向けて取り組んでまいります。

商工業及び観光業の振興に関する施策につきましては、引き続き金武町プレミアム付商品券事業を実施し、町内の購買力の向上や商店街の活性化を図ってまいります。また、道の駅整備に向けて「金武町道の駅基本計画策定委員会」を中心に、建設予定地の選定、機能、運営等の協議を進め、農業、商業、観光などすべてを結ぶ拠点施設として整備できるよう取り組んでまいります。

まちづくりに関する施策につきましては、町政運営の基礎となる第5次金武町総合計画が昨年度よりスタートし、

## 平成29年度予算

国は地方への対応として、一億総活躍社会の実現や地方創生の推進、防災・減災対策等に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことができるよう、地方交付税等の一般財源総額について、平成28年度を0.4兆円上回る額を確保することとしております。

国の平成29年度の地方財政計画の規模は、86兆6千100億円、対前年度比1.0%の増、地方交付税は、対前年度比2.2%の減、地方税及び地方譲与税は、対前年度比1.1%の増、臨時財政対策債は6.8%の増となっております。

本町の平成29年度予算編成においては、国の地方財政計画の動向を踏まえ、国・県等の補助金や基金の有効活用を図りながら、事業の必要性、有効性等を念頭に置き、効果的な事業実施に努めてまいり

重点プロジェクト及び6つの施策に基づきまちづくりを推進しております。今後も、検証を重ねながら同計画の将来像である「みんなで築く夢と希望がもてるまち」の実現に向けて各種施策に取り組んでまいります。

地方創生関連につきましては、国の各省庁が示している取り組みに付随し関連予算が計上されております。今後は、本町の特性を活かした事業の検討、立案ができるよう情報を収集しながら地方創生関連予算が活用できるよう取り組んでまいります。

ギンバル訓練場跡地周辺における関連事業につきましては、温泉施設の整備において、民設民営による温泉施設運営候補者を募集しており、町内外からの誘客が図れるよう選定された事業者と早期開業に向けて取り組んでまいります。また、同跡地周辺においては、現状の計画を踏まえながら新たな雇用の創出など有効的な

ます。

予算額につきましては、

一般会計

86億1420万9千円

特別会計

28億4310万円

(特別会計内訳)

金武町有線放送電話事業特別会計

2687万4千円

金武町国民健康保険事業特別会計

23億6108万6千円

金武町後期高齢者医療特別会計

1億4664万6千円

金武町下水道事業特別会計

3億849万4千円

合計

114億5730万9千円

となり、平成28年度に比べ、一般会計で2.3%の増、特別会計で10.3%の減、合計では1.1%の減となっております。

## 主要施策の説明

「健やかで明るく  
心のふれあう  
まちづくり」

### (子育て支援について)

子育て支援につきましては、待機児童対策として、小規模保育施設が2園の新設、認可外保育所2園の認定子ども園化を実施してまいりました。今後も、小規模保育施設1園と認定子ども園1園の新設、既存保育施設の建て替えや増築による定員の増加を図り、待機児童の解消に取り組んでまいります。

子どもの貧困対策につきましては、居場所づくりの中で子どもたちが自己肯定感を強め将来をイメージし、負の連鎖から脱却できるようキャリア教育等に取り組むなどの支援の充実を図ってまいります。

放課後児童健全育成事業につきましては、月曜日から金曜日

### (国民健康保険)

国民健康保険事業につきましては、町民1人あたりの医療費が依然として高い状況にあります。本町としましては、特定健診の受診率向上のため、医療機関との連携及び未受診者への受診勧奨を継続的に行ってまいります。また、保健指導の強化やジェネリック医薬品の使用促進等を図ることで、医療費の抑制に努めてまいります。

### (後期高齢者医療)

後期高齢者医療につきましては、医療機関の重複受診抑制のため、訪問指導を継続的に実施するとともに、長寿健診の受診勧奨により疾病の未然防止や重症化予防に努めてまいります。

曜日の平日に加え新たに土曜日の開所、併せて夏休みに加え新たに冬休み、春休みの長期休暇の開所を実施することで共働き家庭の支援を図ってまいります。

### (町民の健康づくりについて)

町民の健康づくりにつきましては、各世代の健康課題に対応したきめ細やかな事業を実施してまいります。

妊娠・出産期につきましては、不妊治療費助成事業の継続により不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図るとともに、すべての妊婦の健康管理として引き続き妊婦健康診査の助成を実施してまいります。

乳児期につきましては、昨年度に導入した予防接種管理システムの活用を推進し、各種予防接種の接種率向上を図ることで、感染症の発症や重症化の予防を図ってまいります。

成人期につきましては、特定健診の受診率が40%となつ

「未来へはばたく  
ひとを育む  
まちづくり」

### (幼児教育の振興)

幼児教育の振興につきましては、幼児教育の充実と各教育課程への円滑な移行が図られるよう、学びの基礎力育成支援アドバイザーを配置し、町内保育所、私立保育園、町立幼稚園、認定子ども園、小学校及び中学校の連携を強化してまいります。また、子育て支援の充実を図るため、金武幼稚園に続き中川幼稚園、嘉芸幼稚園においても、預かり保育を実施してまいります。

### (義務教育の振興)

義務教育の振興につきましては、児童・生徒ひとり一人に目の行き届いたきめ細かな指導を行うため、1学級35人以下とする少人数学級編制を継続して実施してまいります。また、教育的支援を必要とする児童・生徒に対し特別支援

ており、全国平均と比較し高い受診率となっております。今後も、生活習慣病の発症及び重病化を防ぐため、若い世代や働き盛りの世代を中心に各種検診の受診勧奨及び健診後の保健指導の強化を図り、日常の健康づくりを支援してまいります。

### (高齢者福祉について)

高齢者福祉につきましては、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう生活支援の充実を目的とした配食サービス、通院支援サービス、緊急通報システム、住宅改修事業等を引き続き実施してまいります。また、寝たきりを予防し介護を必要としない健康寿命を延伸できるよう長寿健診の受診勧奨及び一般介護予防事業の充実を努めてまいります。

さらに、地域コミュニティの基盤として高齢者のみならず身体等にハンディのある方や子どもなど幅広い年齢層を

教育支援員等を配置し、個々の発達段階に応じた支援を行い、インクルーシブ教育(※4)の充実に取り組んでまいります。

英語教育につきましては、各小学校、中学校において英語教育課程特例校として特別な教育課程を編成し、外国人英語指導助手や日本人英語指導員のもと、本町独自の英会話プログラムに沿った工夫を凝らした英語の授業を行ってまいります。

学校給食につきましては、食物アレルギーを持つ幼児・児童・生徒に配慮した安全・安心な給食を提供し、子どもたちの健全な心身の育成に資するよう努めてまいります。また、子育てに係る経済的な支援として町立幼稚園及び認定子ども園幼児教育課程の5歳児、町立小学校及び中学校に在籍する児童・生徒の給食費の無料化を実施してまいります。

対象とした支援体制の充実を図るため、各区に地域協議体を設置し、誰もが安心して暮らせる地域社会の構築を図ってまいります。

### (障がい者福祉について)

障がい者福祉につきましては、障がい福祉サービス等が有効に活用されるよう引き続き個々の障がいや生活状況に応じた「サービス等利用計画」を作成していくとともに、相談体制の充実を図ってまいります。

障がい児の支援体制につきましては、早期のアプローチが重要であることから、乳幼児健診における早期発見の強化、保育施設における適切な保育士の追加配置、学校終了後の放課後デイサービスを整備してまいります。併せて、保育所や学校内においても専門的支援が受けられるよう保育所等訪問支援事業を実施し、当該児童が早期に社会対応ができるよう事業所や保護者、



▲嘉芸小学校の給食時間の風景

### (生涯学習の振興)

生涯学習の振興につきましては、あらゆる世代で個々が望む「学び」を通じて、心豊かな暮らしを実現できるよう、生涯学習環境の充実を図ってまいります。その具体的な取り組みとして、文部科学省が推進する「放課後子ども教室」を各地区公民館において実施し、町内の児童すべてを対象に体験活動や交流活動の場を提供してまいります。また、社会教育団体と連携し各種活動を広く町民に紹介するなど、効果的な事業の実施に向けて取

り組んでまいります。

生涯学習振興の拠点施設である町立中央公民館につきましては、趣味や教養・健康の分野など様々な公民館講座を通じた学習の機会、公演事業等の優れた芸術文化に接する機会を提供し、町民の主体的な文化活動を支援してまいります。

町立図書館につきましては、本町の情報拠点として多種多様なジャンルの蔵書を収集するとともに、ブックスタート、お話し会、映画会、読書フェスティバル等を開催し読書環境の充実を図ってまいります。



▲放課後子ども教室（金武区）

まいります。

### （国際交流の推進）

国際交流の推進につきましては、海外雄飛の里として県内外に更なる情報発信ができるよう、12月5日の「金武町移民の日」の関連事業の充実に向けてまいります。

海外移住者子弟等研修生受入事業及び青年海外派遣事業につきましては、研修内容の充実を図りながら両事業を実施することにより、各国町人会との更なるネットワークを築き、相互の架け橋となる人材育成や人的交流に努めてまいります。

「自然と調和した  
住みよいまちづくり」

### （生活環境の整備）

生活環境の整備につきましては、町営住宅の長寿命化を図るため策定された「金武町公営住宅長寿命化計画（※5）」に基づき浜田団地改修のため

### （スポーツの振興）

スポーツの振興につきましては、各種教室の開催による町民の健康・体力づくりの推進、専門講習による指導者の育成に努め広い世代で活躍できる人材の育成を図ってまいります。また、国頭郡球格技大会において金武町体育協회가3年連続で総合優勝を果たしており、今後も競技力の向上を図れるよう支援してまいります。

スポーツ施設においては、昨年4月に金武町フットボールセンターが供用開始され、サッカーチームの練習及び大会の開催等で利活用されております。今後も、町民の有効活用を図るとともに、大会やプロチーム等の受け入れを促進してまいります。

金武町陸上競技場につきましては、機能高度化事業として観覧席、会議室、トイレ、シャワー室、エレベーター等を備えたクラブハウス、駐車場、ナイター照明等を整備してま

まいります。

### （青少年健全育成の推進）

青少年健全育成の推進につきましては、金武町青少年健全育成連絡協議会を中心に、家庭・学校・地域及び行政が連携して「地域の子どもは地域で守る・育てる」という意識の高揚に努めながら、深夜はいかいや未成年の飲酒、インターネットの利用や薬物、不審者など青少年への悪影響を未然に防ぐための啓発活動を推進してまいります。

また、家庭教育力の向上と保護者を支援するための家庭教育講座、PTA等の関係団体との共催による各種事業を実施してまいります。

いじめ問題に関する取り組みにつきましては、いじめ防止対策推進法の基本理念に基づき、行政、学校、地域住民、家庭、その他の関係者等の連携のもと、いじめの防止、早期発見及びその対処等について金武町いじめ防止基本方針

を定め、いじめ問題の克服を目指し効果的な取り組みを実施してまいります。

### （地域文化の振興）

地域文化の振興につきましては、町内各地に残る有形無形の文化財の保護及び活用策を推進し、文化的な資源として地域発展に繋がるよう努めてまいります。地域に伝わる民俗芸能の保存継承につきましては、金武町民俗芸能祭や映像記録の活用等、各区の伝統芸能保存団体を支援してまいります。埋蔵文化財につきましては、諸開発に伴う事前確認及び適切な保護を図るための予備調査を引き続き実施してまいります。

町史編さん事業につきましては、現在、民俗編の編さん作業を進めております。編さん作業とともに、調査研究成果を文化講座や広報紙を通じて公開し、郷土の歴史・文化を再認識する機会をより多く提供できるよう取り組んで

の実設計を行ってまいります。また、老朽化している中川第1団地の移転も含めた新たな建て替えへ向けて、補助先である国や関係機関と調整を図り、早期に採択されるよう取り組んでまいります。

粉塵や悪臭など地域から発生する問題につきましては、発生源となる事業所等の指導強化を図るとともに、必要に応じて沖縄県や関係機関と連携し、町民の快適な生活環境を保持してまいります。

### （道路の整備）

道路の整備につきましては、既存の町道金武150号線を延伸し、浜田団地付近から金武中学校付近への交通アクセスの向上を図ってまいります。

また、介護老人保健施設信愛の丘付近からエメラルドタウンへのアクセス道路として町道屋嘉80号線整備工事を実施してまいります。さらに、ギンバル訓練場跡地に整備が予定されている海浜公園、ビー



▲町道屋嘉 80 号線

チ等へのアクセス道路として町道中川36号線整備工事を実施してまいります。

### （上水道の整備）

上水道の整備につきましては、老朽化した渡慶頭原配水管布設替工事及び屋嘉地区配水管布設替工事を実施し、安全・安心な水道水の安定供給を図ってまいります。

### （下水道の整備）

下水道の整備につきましては、既に一部供用開始している並里・金武地区に加えて、金武地区を中心に供用区域が拡大されます。本年度は、下

### （公園の整備）

公園の整備につきましては、金武地区公園において幼児用の遊具、乳幼児用の遊具、休憩所、子ども用のトイレ、熱中症対策としてのミストなど子どもたちが安全で楽しく遊ぶことができるよう整備してまいります。本年度につきましては、金武児童公園において東屋及びトイレ、平成30年度に遊具等を設置し地域住民が憩いの場として利用できる

るよう年次的に整備を実施してまいります。

「安心して暮らせるまちづくり」

### 〔廃棄物処理対策〕

新焼却施設の整備につきましては、施設整備予定箇所の返還に係る合意が日米合同委員会において承認されました。建設に係る費用の補助につきましては、沖縄防衛局の民生安定助成事業の交付決定を受けており、事業主体である金武地区消防衛生組合と連携しながら、年次的に当該施設の整備を進めてまいります。

### 〔防災・減災対策〕

防災・減災対策につきましては、防災情報システムを活用した防災訓練を定期的に行なう実施してまいります。また、町民ひとり一人が「自分の命は自分で守る」という防災意識の高揚と啓発に努めるとともに、結成された渡慶頭原地区、

伊芸地区、屋嘉地区の自主防災組織に対し引き続き防災・減災に関する支援を行ってまいります。

### 〔墓地関連について〕

墓地関連につきましては、キャンプ・ハンセンに配属される新兵に対して、滞在中における規律遵守などの講話を行い、引き続き事件・事故の未然防止に努めてまいります。

演習による山林火災やヘリによる騒音被害等につきましては、関係機関に対し演習の中止や再発防止の要請を引き続き行うとともに、騒音測定器の設置を求めてまいります。

また、金武レッドビーチ訓練場につきましては、特定防衛施設周辺整備調整交付金が交付されるよう港湾指定に向けた要請を行い、交付金が増額されるよう取り組んでまいります。

討内容を総括し計画を推進してまいります。

### 〔観光業の振興〕

観光業の振興につきましては、体験型観光や安全・安心な民泊事業が展開できるように旅館業法に基づく簡易宿所の営業許可の取得等を支援してまいります。また、本町の豊かな自然環境と文化を活かした地域活性化事業を実施し、町内外からの誘客を図ってまいります。さらに、本町の観光情報を発信するため、観光ポータルサイトの充実を図るとともに公衆無線LANの活用等を分析し、本町の更なる観光振興に向けて取り組んでまいります。

### 〔雇用対策の推進〕

雇用対策につきましては、金武町就業支援センターを拠点に求職・求人情報等を一元化することにより、資格等の取得のための講座の開設、セミナー、キャリア教育、職業

「活気あふれる産業のまちづくり」

### 〔農林・畜産業の振興〕

農業の振興につきましては、栽培技術指導、生産機具・資材補助、害虫・害獣駆除対策、農地集積等を図り、安定的な生産向上及び担い手の育成に努めてまいります。

農業用水につきましては、伊芸地区かんがい排水施設整備を引き続き実施するとともに、昨年度に完了した並里地区及び屋嘉小浜地区の農業用水の安定供給に努めてまいります。

林業の振興につきましては、ぶなしめじ生産施設の安定経営を図るため、新規顧客の開拓ができるよう販路拡大に向けて連携してまいります。また、町営苗畑施設の運営充実及び緑化推進に取り組むとともに、造林事業を引き続き実施してまいります。

畜産業の振興につきましては

紹介・就職斡旋等に取り組んでまいりました。その結果、平成28年度において平成29年1月現在で利用者数235人、就業者数28人となっております。今後も同事業の充実を図りながら、町民の雇用改善に取り組んでまいります。さらに、金武町雇用対策事業において、ギンバル訓練場跡地へ進出する企業と連携しながら雇用促進と人材育成を支援してまいります。

「ともにつくる魅力あるまちづくり」

### 〔町民と創るまちづくり〕

町民と創るまちづくりにつきましては、まちづくりや雇用、子育てなど様々な分野からの意見の収集や提言の場として「女性による町づくり提言委員会」、「金武町雇用対策事業検討委員会」、「金武町子ども・子育て会議」等を引き続き開催し、今後の行政運営に反映できるよう努めてまい

は、肉用牛のセリの結果において市場の高値取引の動向があるものの優良品種導入支援等の一定の成果もあり、町内生産者の出品牛も高値で推移している状況となっております。今後も引き続き、優良繁殖牛や優良種豚の導入を促進し、繁殖能力の高い優良な畜種を増殖させ経営の安定化を図ってまいります。



▲第38回町畜産共進会

### 〔水産業の振興〕

水産業の振興につきましては、金武漁業協同組合が策定した「浜の活力再生プラン」に基づき漁獲量の増加や漁業所得の向上及び担い手育成に

ります。また、地域の声を施策に活かせるよう各区において行政懇談会を開催するとともに、本町の取り組みや事業等をホームページ、広報紙、SNSなどの媒体を活用し、まちづくりに関する情報を発信してまいります。

金武町ふるさと応援寄附金制度につきましては、昨年度より本町の魅力的な特産品や特典を返礼品として提供しております。同制度を活用し返礼品を提供することにより、農業者の生産意欲や品質の向上、事業所等の新たな製品開発などの相乗効果が生まれております。今後も、農業者や事業所等と連携しながら地場産業の活性化に寄与できるよう取り組んでまいります。

### 〔行政運営の確立〕

行政運営の確立につきましては、これまで進めてきた機構改革検討委員会において、事務事業の配置や整理、新たな課の設置について検討して

まいりました。本年度は、検討結果を総括するとともに、「子ども支援課（仮称）」、「商工・観光課（仮称）」の設置に向けて条例等や必要な手続きを進めてまいります。また、多様化する町民ニーズに対応できるよう研修等による職員の資質向上に努めてまいります。さらに、公共施設の状態を整理し今後の管理・運営のあり方について持続的に検討し、行政サービスの向上と効率化を目指してまいります。

### （財政運営の確立）

財政運営の確立につきまして、経常経費を抑制するとともに、効率的で有効的な予算編成に努めてまいりました。今後も、健全財政を維持するため必要性、計画性、弾力性等を念頭に置きながら、財政運営に努めてまいります。

## 町勢発展のための展開

ギンバル訓練場跡地につきましては、観光リゾートの実現を図るため、沖縄県が本年度から3年間かけて実施する海岸整備事業と連携しながら、隣接する背後地にギンバル海浜公園整備事業の管理施設等実施設計を行ってまいります。併せて、既存の施設の有効的な活用や今後予定されているホテル等の整備を前提として、新たな事業の実施に向けての可能性を検討し、当該地域の更なる発展に向けて取り組んでまいります。

また、当該地域においては、プロ野球チームやプロサッカーチーム等が関連施設を利活用している状況があり、多くの見物客が訪れております。このような現状を分析するとともに、交通アクセスの利便

性の向上や地域活性化を図るため、県道104号線に接続するスマートインターチェンジの設置に向けて引き続き国・県等の関係機関と協議してまいります。

## おわりに

以上、平成29年度の町政運営の基本方針並びに主要施策の概要について説明いたしました。

私は、町長に就任してから、職員に対し目くばり・気くばり・心くばりを大切にし、共に考え、汗を流し、行動するため「チーム金武」としてともに取り組もうと呼びかけております。今後も、第5次金武町総合計画の将来像である「みんなで築く夢と希望がもてるまち」の実現に向けて全力で町政運営に取り組んでまいります。議員各位をはじめ町

民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成29年3月6日

金武町長 仲間 一

### 用語の説明

- ※1 小規模保育施設：定員規模が6人以上19以下の保育施設のこと。
- ※2 認定子ども園：就学前の子どもに教育と保育を一体的に提供するほか、地域の子育て家庭に対する支援を行う施設。幼稚園や保育所などのうち、一定の基準を満たす施設を都道府県知事が認定する。
- ※3 スポーツコンベンション：スポーツキャンプ、合宿、大会、イベント等の開催を通して集客、交流、経済効果などスポーツもしくはスポーツ施設を資源として、地域活性化を図ること。
- ※4 インクルーシブ教育：障がいのある子どもを含むすべての子どもに対して、子どもひとり一人の教育にあった適切な教育支援を通常の学級において行う教育のこと。
- ※5 長寿命化：将来にわたる必要なインフラ機能の発揮に向けた取り組みで、メンテナンスマイルを構築継続的に実施するための計画。